

京都市の課題

通行ルールの違反やマナーの低下等による歩行者と自転車の交通事故件数が年々増加している

対 策

自転車利用者の通行ルールの周知徹底とマナーの向上を図り、「歩行者及び自転車利用者にとって安全で快適な通行空間」を確保することを目指しています

成 果 目 標

- ①整備対象路線(自転車歩行者道)における自転車利用者の通行ルールの遵守率
45%(H22 当初)→46%超(H24 末)→50%超(H26 末)
- ②整備対象路線(自転車レーン等路肩活用)の自転車通行量増加率(通勤通学時間帯)
—(H22 当初)→ 1%超(H24 末)→ 5%超(H26 末)

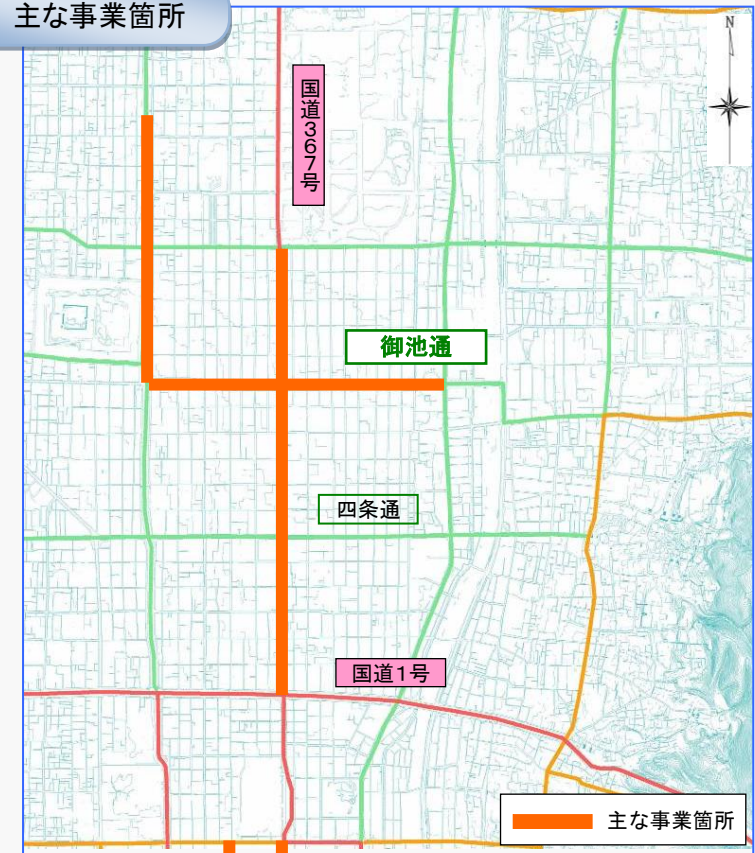
事業が完成すると？

- ・歩行者及び自転車利用者にとって安全で快適な通行空間の確保
- ・歩行者と自転車利用者の接触事故の防止

更にこんな効果が

- ・自転車利用者の通行ルールの周知徹底, マナーの向上

主な事業箇所



※ 財政状況、事業の進捗状況等により今後適宜見直していくこととしています。

実証実験のイメージ等

